

2023年4月18日

## 通貨ニュース

# ブラジル: ルラ政権の親中路線に拍車がかかる

ここ1か月ほど、ブラジルと中国との関係の深化に関する報道が相次いでいる。特に、先週にはルラ・ブラジル大統領が中国に訪問し、習近平・中国国家主席と北京において首脳会談で行った。本稿では、直近の両国の外交に関する情報を整理するとともに、為替市場、特に BRL 相場に対する影響について分析を行いたい。

まず、3月29日、両国間の貿易に関しドルを仲介通貨とせず、自国通貨(人民元もしくはブラジルレアル)を用いて決済を行う旨の協定覚書を公表した。2009年以降、中国はブラジルにとって最大の貿易相手国になっており、より円滑な両国の貿易取引を見込んだ決定とのことだ。実際、過去20年にわたって同国の貿易活動における中国の存在感は右肩上がりに上昇しており、第三国の通貨を用いないメリットは大きそうだ(図表1)。

また、ブラジル中央銀行(BCB)が3月31日に公表した『International Reserves Management Report』によれば、同国の外貨準備における人民元の占める割合(2022年12月末時点のデータ)はユーロを上回り、ドルに次ぐ2番目を記録した。具体的には、5.4%となり、それまで2番目であったユーロの4.7%を上回った。しかしながら、ドルは依然として全体の80.4%を占めていることは強調しておきたい。

最後に、ルラ大統領は今年12日～15日にかけて中国を訪問した。ボルナソロ・前ブラジル大統領の下では対中関係がやや冷え込んでいた経緯もあり、関係改善をアピールする狙いがあったものと考えられる。中国訪問のダイジェストは主に①2国間協定、②首脳会談の2点に集約されるものと認識している。①2国間協定では半導体分野を中心に科学技術面での協力を推進することを決定し、ルラ大統領は華為技術(ファーウェイ)の研究開発施設を訪問するなど、同社を市場から締め出す欧米諸国とは一線を画す姿勢を強調した。②首脳会談では長期戦の様相を呈するロシア・ウクライナ戦争に関し「平和解決に向けた努力を支持」することを示し、米国に対しては「戦争を煽るな」などと呼びかけた。こちらに関しても、軍事支援を含めウクライナ支援に注力する姿勢を堅持する西側諸国とは距離を置いた格好だ。

これらの事象を総括すると、ブラジルの米国離れ、もしくはドル離れといえなくもない。しかしながら、外貨準備におけるドル建て比率の低下は何もブラジルに限った話ではなく、しかも過去20年あまり世界中で続いてきた話なので、特段新味はないだろう。また、ブラジルの対外債務に目を移せば、ドル建て比率は依然高水準で推移しており、人民元建てはほとんど無視してよい水準だ(図表2)。加えて、全世界の決済総額に占めるドルの割合も高水準を維持しており、「ドル離れ」の色は感じない(図表3)。人民元は増加基調にはあるが、ドル一強を揺るがすには相当の距離があるだろう。

市場営業部

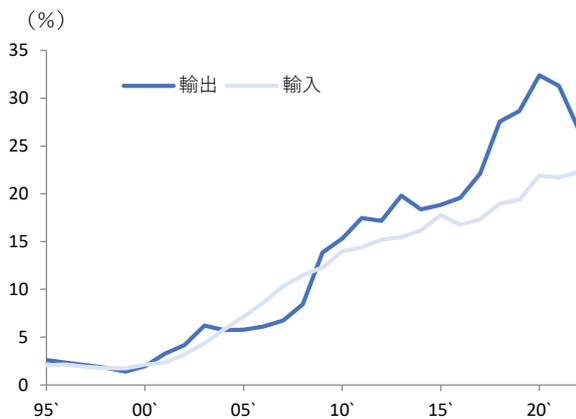
長谷川 久悟

03-3242-7065

[kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp](mailto:kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp)

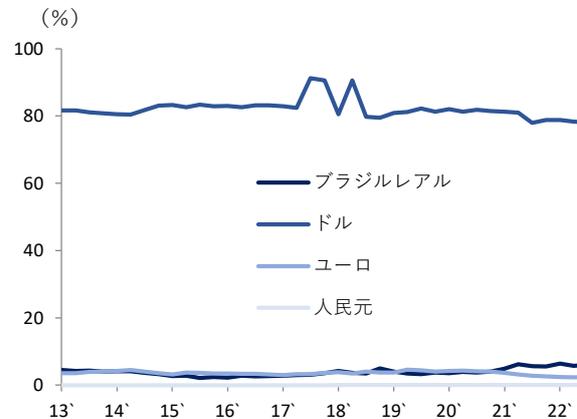
他方、BRL 相場に関しては、人民元相場との連関性に注目したい。図表 4 では、ボルソナロ政権開始(2019年1月)以降の BRL 相場と CNY 相場を並べている。2022年の秋ごろ以降、それぞれの動きに一定の連関性が見て取れよう。実際に、ルラ政権誕生から決選投票当日まで(2019年1月1日~2022年10月末)とそれ以降(2022年11月1日~2023年4月14日)のデータをもとに相関係数を試算したところ、前者が約▲0.40、後者が約+0.37と明確に異なる結果となった。むろん、BRL 相場は域内のインフレ動向や金融政策、あるいは商品市況等による影響が大きく、CNY との相関係数が高まったからと言って因果関係があると断ずることはできないだろう。ただし、両国の関係が深化していく中で、両通貨の相関性が高まっているというのは紛れもない事実である。今後 BRL 相場を分析する際、対中関係あるいは CNY 相場の動向は注視していく必要がありそうだ。

図表 1: 輸出入総額に占める中国の割合



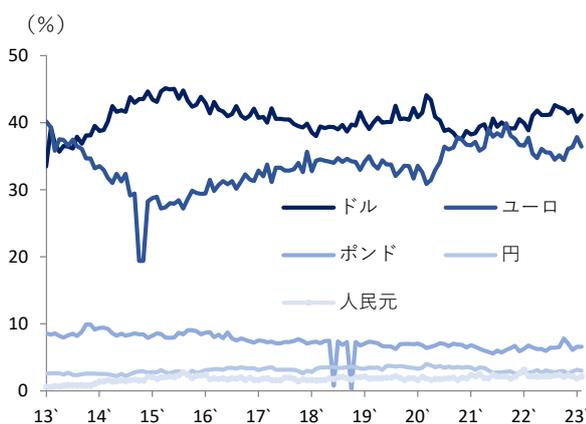
出所: ブラジル開発商エサービス省、Macrobond、みずほ銀行

図表 2: 対外債務における各通貨建てでの割合



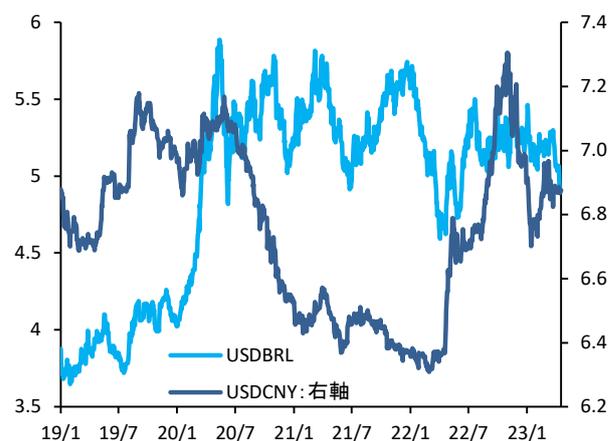
出所: ブラジル中央銀行、Macrobond、みずほ銀行

図表 3: 世界の決済総額に占める各国通貨の割合



出所: SWIFT、Macrobond、みずほ銀行

図表 4: BRL 相場と CNY 相場



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。